

2009年 2月 9日

第27回レーザセンシングシンポジウム開催趣意

実行委員長 国立環境研究所／気象研究所 内野 修

レーザレーダは、1960年にレーザが発明されると直ちにその応用分野として注目されて研究が開始され、大気や海洋、地形、衛星測距等の能動的な計測手段として発展してきました。特に、大気の三次元的な構造や大気成分の立体的な観測が可能であり、電波を用いたマイクロ波レーダや光による受動的な（パッシブ型）センサとは異なる、新しい多くの機能がその中に見いだされてきました。わが国におけるレーザレーダの研究も先進諸外国と同時に開始され、1972年には国内のレーザ分野の研究者が集まり、第1回レーザレーダシンポジウムを仙台（作並）で開催いたしました。これを機に東北大学稲場文男教授（当時）を会長としてレーザレーダ研究会が発足し、レーザレーダシンポジウムも約1年半の間隔で引き続いて開催されてきました。その後、研究分野の拡大・発展を受け、レーザを利用したより広い分野のセンシング技術やその応用分野の研究発表を行う場とするため、1988年の第12回からは「レーザセンシングシンポジウム」とその名称を変更し、毎年活発な研究活動を展開してまいりました。ちなみに最近におけるレーザセンシングシンポジウムの開催地と参加者数・発表件数は下記の通りです。

第23回	2004年	9月	茨城県つくば市（筑波山）	115名、発表	74件
第24回	2005年	9月	千葉県鴨川市（鴨川温泉）	104名、発表	68件
第25回	2007年	9月	秋田県仙北市（田沢湖温泉）	86名、発表	67件
第26回	2008年	9月	福岡県朝倉市（原鶴温泉）	85名、発表	68件

この活動を母体とし、国際的な活動として、1974年に第6回の、1994年には第17回の国際レーザレーダ会議（ILRC）を共に仙台市で開催し、2006年には第23回ILRCを奈良市で開催して参りました。

この間、国内では高度経済成長期には公害による環境問題が多発し、これに応じて環境計測システムとしてのレーザレーダの研究開発も活発化し、レーザレーダシンポジウムも活況を呈してまいりました。近年になって明らかになってきた地球温暖化のような地球環境の変化は、人類の活動によって引き起こされていると言っても過言でないものが多く、人類自身による地球環境変動の正確な把握と予測、並びに解決を図る必要性が強く認識されるに至っています。また、現代では人類の生存を危ぶませるような問題も多くおこってきており、国民の危機管理や安全確保においても、レーザレーダをはじめとするレーザを用いるリモートセンシングの重要性がとみに高くなってきているところであります。このような、地球環境問題や安全・危機管理などにおいて重要な役割を果たすと考えられるレーザセンシングに関するシンポジウムは、その技術開発やソフト開発に重要な役割をはたすものと確信しております。

第27回 レーザセンシングシンポジウム 概要		
主催		
レーザレーダ研究会シンポジウム実行委員会 (第27回実行委員長：国立環境研究所／気象研究所 内野 修)		
開催日程・会場		
日程	平成21年9月3日(水)・4日(木)	
会場	那須高原 ホテルエピナール那須 〒325-0302 栃木県那須郡那須町大字高久丙1番地 TEL:0287-78-6000 FAX:0287-78-6666 E-mail:hotel@epinard.jp	
特別講演(9月3日)		
『アジアにおけるブラックカーボン』 近藤 豊(東京大学先端科学技術研究センター 教授)		
発表形態(予定)		
口頭発表	発表時間13分 質疑応答2分	
ポスター発表	発表時間105分(3日)+60分(4日) ポスターサイズ横72cm×縦101cm	
協賛・後援(予定)		
応用物理学会、環境科学会、計測自動制御学会、大気環境学会、地球電磁気・地球惑星圏学会、電気学会、電子情報通信学会、日本気象学会、日本光学会(応用物理学会)、日本天文学会、日本分光学会、日本リモートセンシング学会、レーザー学会、日本測地学会		
参加費・宿泊費・懇親会費		
参加費	一般	12,000円
	学生	2,000円
※参加費には講演要旨集代金が含まれています。 ※シンポジウムに参加しない同伴者の宿泊も受付ます(参加費不要)。		
宿泊費	10,000円	
懇親会費	3,000円	
受付期間(締切)		
論文申し込み受付期間	平成21年 2月 9日～平成21年 7月21日	
参加申し込み受付期間	平成21年 2月 9日～平成21年 8月10日	
原稿提出受付期間	平成21年 2月 9日～平成21年 8月10日	
第27回レーザセンシングシンポジウムホームページ http://www-lidar.nies.go.jp/lss27/		